

Windomの解答速報 東海大学(医)英語 2月3日

【解答と予想配点】

合計 150 点

① 小計 28 点

問1 エ 問2 イ 問3 ウ 問4 ア 問5 ウ 問6 ウ 問7 ウ 問8 イ 問9
エ [18点(各2点×9)]

問10 1. F 2. T 3. T 4. F 5. T [10点(各2点×5)]

② 小計 20 点(各2点×10)

1. ア 2. エ 3. イ 4. エ 5. エ 6. ウ 7. イ 8. エ 9. イ 10. ア

③ 小計 20 点(各2点×10)

1. ア 2. エ 3. ウ 4. エ 5. ウ 6. イ 7. ウ 8. ア 9. イ 10. エ

④ 小計 16 点(各2点×8)

1. ア 2. ア 3. イ 4. ウ 5. エ 6. エ 7. ア 8. イ

⑤ 小計 12 点(各3点×4)

問1 イ 問2 ア 問3 ウ 問4 ウ

⑥ 小計 12 点(各3点×4)

(1) エ (2) イ (3) イ (4) エ

⑦ 小計 21 点

(1) しかしながら、パンダは、農業、森林伐採そして他の開発行為が原因で、現在絶滅危惧種のリストに載っている。

(2) その結果、中国政府の調整のもとで、パンダの生息地を保護するための大きな継続的努力が行われた。

⑧ 小計 21 点

(1) Japan has gained cultural influence which equals the great economic power she had in 1980s.

(2) The Japanese government is trying to help (to) expand her production, foodstuffs and fashion in an overseas market.

総評

1 日目に続いて、この 2 日目も例年通りの出題形式で、難易度もほぼ同じである。合格最低ラインは 8 割ほどであろう

各論的講評

1

【テーマ】 笑い療法

【解説】

- 問1 第 2 段落第 1 文に **The origin of laughter therapy** ～とあり、選択肢の **began** がその言い換えになっている。また、第 2 文以降も **Norman Cousins** の書物を取り上げ、笑い療法の起源を説明している。
- 問2 第 3 段落第 1 文に **laughter therapy has been popularized and expanded** とあり、それに続いて、**laughter therapy** が様々な国で実践されている例が書いてある。そして、最終文で笑い療法が現在 **70 カ国以上** で行われていることが述べられている。
- 問3 第 4 段落第 1 文で「笑い療法が多くの点で役立つ」とされ、その後で、選択肢ウの **the health benefits of laughing** の具体例が列挙されている。
- 問4 **groundbreaking** : 「革新的な」 たとえ、この語を知らなくても、下線部を含む文の直前の第 2 段落第 4 文で、**new and sensational** と説明されていることから推測できる。
- 問5 **its** から直近のふさわしい単数名詞からさかのぼっていくと、まず **laughter research** が見つかる。これで内容として問題はないので、即決する。
- 問6 空所の前で述べていることを受けて、空所の後でその証拠となる具体例を提示していることを参考にする。
- 問7 ヨガの話から **increasing body flexibility** を推測した人がいるかもしれないが、体の柔軟性と笑いの関連性を本文から見出すことはできない。その他の選択肢に関しては、**A. fighting disease** は第 5 段落第 3 文で「感染症と闘い、免疫システムを高める」と述べられている。また **I. improving blood circulation** に関しては、同段落第 4 文で「糖尿病患者の血糖値を高め、血管を弛緩させることで血流をよくする」ことが述べられている。最後に **E. relaxing muscles** は第 4 段落第 4 文で「筋肉がほぐれる」と述べられている。
- 問8 第 5 段落の第 6 文の **Researchers are less sure**, 第 7 文の **unclear**, そして、最終文の **The proof that science demands is still missing.** などから答えが決まる。
- 問9 本文は、笑い与健康、笑いによる病気の治療、などがテーマになっている。なお、このようなタイトル設定の問題はキーワードを探し出すことである。本稿のそれは第 1 段から最終段まで繰り返し出てくる **laughter** である。その後が含まれている選択肢を選ぶ。
- 問10
1. 第 1 段落を参照。「病院は笑う患者を許さない」とはどこにも書かれていない。
 2. 第 2 段落第 3 文を参照。**his personal experience** と書かれている。
 3. 第 4 段落第 3 文を参照。**many medical practitioners** 「多くの医療従事者」は選択肢の **Many doctors and nurses** の言い換えである。

4. 第5段落第5文を参照。「笑うことは叫ぶことと同じ効果を持つことが知られている」とは書かれていない。むしろ, it is unclear how laughter compares to other vocal acts such as shouting「笑いが叫ぶことのような他の音声行為とどのように比べられるかは不明である」と述べられている。
5. 最終段落の内容と選択肢の probable「十分可能性がある」が合致する。

2

1. ア 主語は The pants で複数扱い。you bought for him は関係代名詞節。目的格の which が省略されている。
2. エ 仮定法過去完了。帰結節は、助動詞の過去形+have+p.p.
3. イ 空所の後ろに、冠詞のない完全文がある点に着目し、二つの文を結び付ける機能を果たすものを選択肢の中から考えれば、関係代名詞の所有格が解答になる。
4. エ 間接疑問文は、疑問詞+肯定文の語順になる。空所の後ろに doing があるので進行形になっている。
5. エ 先行詞は複数名詞で、主文の時制が過去である点に着目する。
6. ウ 時制の一致で will を would にするのが一般的だが、まだ三年後が到来していないので、will のままでよい。
7. イ Much が主語。単数扱いで時制は過去。
8. エ Knowing~buy までが分詞構文。
9. イ その映画が始まった時には本当に退屈していた。
- 10.ア 時点を表す at。at the end of ~ : ~の終わりに、at the beginning of ~ : ~の初めに

3

1. ア 外見
2. エ 性格
3. ウ 著しい
4. エ 明確な
5. ウ (出来事が)起きる
6. イ およそ
7. ウ めったに~ない hardly ever = seldom、rarely、almost never
8. ア 故意に、わざと on purpose = deliberately、purposely、purposefully、intentionally、by intention
9. イ 姿を見せる turn up = appear、show up
- 10.エ ときどき off and on = sometimes、on and off

4

1. ア Steve と Dave のそれぞれの最初のセリフから、普段はもう少し遅いが今日は12時まで夜学校から戻ってきた、ことがわかる。問題文の normally は「普段は」に着目して、解答を決める。
2. ア 何をやっているの？

3. イ Dave が夜学校から戻ってきて、Steve とテレビの話題をしている会話なので、家で二人が話している可能性が一番高い。
4. ウ 二人は現在契約しているケーブルテレビについての不平不満を語り合っている。
5. エ Tom の最初のセリフを受けて、ペットの蛇をキャンパスツアーに連れてきた少年のことを Linda が信じられない、と言っている。
6. エ furious : 激怒している
7. ア Tom の三番目のセリフで、学部長は違った風に振舞うのを恐れないその少年のような自由思想家が好き、とあるので解答が決まる。
8. イ キャンパスツアーと学部長という語が出てきたので、大学での出来事であることがわかる。

5

- 問1. イ まず4の that に着目して、1→4を決めて、あとはイとエのうちで話を通じる方を選ぶ。
- 問2. ア coffee、tea、water の優劣の付け方をよく観察すると、4→1→3が決まる。
- 問3. ウ 1の a newspaper article と4の the article に着目して、まずは1→4が決まる。次に4の first、3の then に着目すると、4→3の順序が決まり、解答が出る。
- 問4. ウ 1、2、3の時代に着目し、救急車が戦場から街へ導入される過程を追っていくと解答が出る。

6

- (1) エ 本文の内容はキャンディ工場で作られたキャンディの品質検査についてである。
- (2) イ 空所(2)の文は、2012年のキャンディの検査合格率は2011年と比べて、となっており、円グラフを見ると、2012年は2011年よりも検査合格率が74%から84%へと10%上がっているのがわかる。
- (3) イ 2011年と2012年の円グラフを見比べると、改善があった不合格率は shape と weight であることがわかる。
- (4) エ people の不合格率は、円グラフを見比べると、2011年、2012年ともに4%である。したがって、同じままである。

7 小計 21 点

【解説】

- (1) しかしながら、パンダは、農業、森林伐採そして他の開発行為が原因で、現在絶滅危惧種のリストに載っている。

[基準] 11点 [①②⑥⑦各2点 ③④⑤各1点]

- ① However, SV1 due to NP1, NP2, and NP3 : 「しかしながら、NP1, NP2, and NP3 のために、SV1 する」
- ② SV1 = NP4 is M1 on the endangered species list : 「NP4 は M1 で絶滅危惧種のリストに載っている」
- ③ NP4 = the panda : 「パンダ」 総称単数なので、the を「その」と訳さない。

- ④ M1 = now : 「現在」
 - ⑤ NP1 = farming : 「農業」
 - ⑥ NP2 = the clearing of forests : 「森林伐採」 clearing を「取り除くこと」などと訳した解答は 1 点減点。
 - ⑦ NP3 = other development : 「他の開発行為」 development を「発展」と訳した解答は 1 点減点。
 - ⑧ 誤字・脱字・単語の誤訳や訳出漏れなどは、それぞれ 1 点ずつ減点する。ただし、同一の間違いは繰り返し減点しない。
- (2) その結果、中国政府の調整のもとで、パンダの生息地を保護するための大きな継続的な努力が行われた。

[基準] 10 点 [①②⑤⑥⑦⑧各 1 点 ③④各 2 点]

- ① M1, NP1, VenP1 VP1 : 「M1 で, NP1 は, VenP1 されて, VP1 する」
- ② M1 = Consequently : 「その結果」
- ③ NP1 = great on-going efforts to VP2 : 「VP2 する大きな継続的な努力」 to VP2 が efforts から離れた位置にあることを読み取ることがポイント。つまり、この場合の to VP2 は形容詞的用法で「～する努力」となる。
- ④ VenP1 = coordinated by NP2 : 「NP2 により調整されて」
- ⑤ NP2 = the Chinese government : 「中国政府」
- ⑥ VP1 = have been made : 「行われた」 make an attempt to do 「～しようと努力する」の受動態。make を「作る」と訳した解答は不可。
- ⑦ VP2 = preserve NP3 : 「NP3 を維持する」
- ⑧ NP3 = their native habitats : 「パンダの生息地」 native habitats は「生息環境」, 「すみか」, 「自然の生息地」と訳してもよい。
- ⑨ 誤字・脱字・単語の誤訳や訳出漏れなどは、それぞれ 1 点ずつ減点する。ただし、同一の間違いは繰り返し減点しない。

[略字・記号一覧]

NP	[noun phrase]	名詞句
VP	[verb phrase]	動詞句
VenP	[past participial phrase]	過去分詞句
M	[modifier]	修飾語句

8 小計 21 点

【解説】

- (1) Japan has now gained cultural influence which is equal to the great economic power she had in 1980s.

[基準] 10 点 [①⑤⑥各 2 点 ②③④⑦各 1 点]

- ① 「日本は～を獲得している」: Japan has gained 現在に残る結果なので、現在完了形になっていなければならない。
- ② 「現在」: now 文頭に At present と置いても良い。
- ③ 「1980 年代に」: in 1980s

- ④ 「持っていた」: (that) she had ここでの she は Japan を受けているが, it でもよい。
- ⑤ 「大きな経済力」: the great economic power
- ⑥ 「～に匹敵するほどの」: which is equal to be equal to A 「Aに匹敵する」
- ⑦ 「文化的影響力」: cultural influence

(2) The Japanese government is trying to help (to) expand her production, foodstuffs and fashion in overseas markets.

[基準] 11点 [①②⑥⑦各2点 ③④⑤各1点]

- ① 「日本政府は」: The Japanese government これ以外に Government of Japan や Japan's government でも可。
- ② 「海外市場における」: in overseas markets これ以外に, in foreign markets や market overseas でも可。
- ③ 「製造」: production
- ④ 「食料品」: foodstuffs 単数形で foodstuff でも可。なお, これ以外に, articles of food や food articles[items]などでも可。
- ⑤ 「ファッション」: fashion
- ⑥ 「の拡張を手助けする」: help (to) expand あるいは help (to) the expansion of と名詞構文で表してもよい。
- ⑦ 「ように努めている」: is trying to 現在進行形になっていない解答は1点減点。

総括

本年度の東海大医学部の二日目の問題でも, 私たちがやって来たことが正しいことが証明された。つまり, 医療系英文を読むための背景知識をつけること, そして設問を解くための選択肢の判定技術と下線部和訳の添削作業である。

特に, 私たちは1学期から授業はもちろんのこと, 授業外でもオリジナルの『自習用英文読解教材』を配布し, その添削に努めてきた。また, 2学期には設問の解法を学ぶべく, 「客観問題の解法」と「記述問題の解法」について授業で扱うだけではなく, それらをより実践的に生かすべく授業内での「実戦演習」を行い, それも全ての生徒に対して添削で指導してきた。英作文もまた然りである。

WINDOM 在籍生の合格が期待できるゆえんである。

